

令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	舞踊	種目	バレエ
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	一般社団法人法村友井バレエ団	団体ウェブサイトURL	https://www.homuratomoi.com
代表者職・氏名	代表理事 法村牧		
制作団体所在地	〒 543-0052 最寄り駅(バス停) JR寺田町 大阪市天王寺区大道2-5-9		
電話番号	06-6771-6475		
ふりがな 公演団体名	法村友井バレエ団	団体ウェブサイトURL	https://www.homuratomoi.com
代表者職・氏名	代表理事 法村牧		
公演団体所在地	〒 543-0052 最寄り駅(バス停) JR寺田町 大阪市天王寺区大道2-5-9		
制作団体 設立年月	1937年 4月		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事:法村牧(牧緒)/理事:法村(宮本)東代子、法村圭緒、法村珠里、法村(堤本)麻起子/総務部:森川起美子、宮本誠一/会計監査:東耕 功(税理士)	団員構成:団員50名/準団員30名 加入の条件:オーディション又は法村友井バレエ学校教師の推薦による	
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担当者置く	本事業担当者名	法村圭緒/片山禎三
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	法村 牧

<p>制作団体沿革</p>	<p>昭和12年設立、大阪・東京に本拠を置く。1983年、法村牧緒が団長に就任。バレエ団・バレエ学校にワガワシステムを定着させ、優秀な指導陣を擁し、多くの舞踊手を輩出し、日本有数のバレエ団に発展。バレエ団は、自主公演は勿論のこと、(社)日本バレエ協会公演、会館主催公演、親子劇場等の舞台に出演し、又、海外のスター級アーティストをゲストとして日本に招き、国際交流にも務めている。平成27年3月、組織を一般社団法人へ変更</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>淀の水高校(1998年)、追手門学院大手前高校(1998年)、狭山高校(1998年)、伊丹高校(1998年)、佐野高校(2000年)、樟蔭高校(1998年、2001年)、上宮太子高校(2003年)、平成19年度～21年度「本物の舞台芸術体験事業」(2007年、2008年、2009年)、平成22年度、23年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」、平成24年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」、平成26年度、27年度、28年度、平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」、令和2年度、令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業」、令和4年度「文化芸術による子供育成推進事業」～巡回公演～</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>平成19年度「本物の舞台芸術体験」香川県立豊学校／「子どものための優れた舞台芸術体験事業」平成22年度・京都市立呉竹総合支援学校／平成24年度・鹿児島県立鹿児島豊学校／平成26年度「文化芸術による子供の育成事業」大阪市立光陽特別支援学校／令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業」香川県立豊学校</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/iM3L2mJxYhU</p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p></p>
<p>PW:</p>		<p></p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 法村友井バレエ団】

対象	小学生(低学年)	○	/
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	バレエを学んで体験「くるみ割り人形～クララの夢～」スペシャル公演		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>第一部 ●「バレエを学んで体験しよう」(約45分) バレエレッスン、チャレンジ・バレエ小品紹介、作品のマ임을学ぶ</p> <p>第二部 ●「くるみ割り人形～クララの夢～」スペシャル公演 作曲:チャイコフスキー、原振付:ブティパ/改訂振付:法村友井バレエ団 (約45分)</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	<p>●第一部では、「バレエを学び体験しよう」と題して、バレエの基本にあたるレッスンやマ임을紹介し生徒さんにも体験して頂きます。そして、バレエの見所が分かりやすい小品(4作予定)を紹介し、そこでは生徒さんを交えワークショップで学んだ小品の実演も行います。</p> <p>●第二部では、「くるみ割り人形」スペシャル(クララの夢)公演と題して、チャイコフスキーの代表的なバレエ作品「くるみ割り人形」の公演を行います。プロバレエ団の公演を凝縮してお届けします。</p>		
演目選択理由	<p>バレエのレッスンには多くのダンス(舞踊)の基礎となる要素が詰まっています。第一部で行う「バレエを学び体験しよう」では、柔軟性や集中力が重要視されるバレエのレッスンを紹介することで基礎レッスンの大切さや、言葉を使わない第一部でバレエのレッスンや基本を紹介。作品表現で重要なマ임による演技力を学ぶ。プロの団員達と一緒に踊る小品では舞台メイクや舞台衣裳も生徒達に身につけて頂き総合的な舞台芸術の表現を紹介して観賞していただきます。</p> <p>第二部で観の「くるみ割り人形」は、クラシックバレエの代表的作品で、音楽的にも親しみがあり、ストーリーも夢がある低学年から高学年まで楽しめる作品です。本来は全2幕のスケールの大きな作品ですが、限られた時間で生徒の皆さんに、充実したプロバレエ団の公演を楽しんで頂くために(クララの夢)と題して、作品全体から分かりやすく凝縮抜粋して観賞していただきます。クララの夢の世界が、有名な音楽と見応えのある演技と共に、夢のあるバレエ作品で芸術鑑賞の価値を伝えます。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>プログラム第一部、「バレエを学び体験しよう」の中で、ワークショップを受講されたメンバーの中から代表者(マ임で男女各8名ほど、小品で男女各4名予定)の生徒に、バレエのマ임表現、小品演目の中で、共演参加していただきます。参加者には、舞台メイクを施し舞台衣裳を着用して頂き舞台表現をリアルに体験して発表していただきます。</p> <p>なお、児童・生徒の共演、参加は第一部だけに集約し、第二部は児童・生徒全員がプロ公演の作品鑑賞に集中していただきます。</p>		
出演者	<p>「法村友井バレエ団・団員」 法村(堤本)麻起子、辰巳紗代、松波満輝、山野有可、川本優貴、井上麻緒、神木遥、南野衣緒梨、中辻里佳子、入本ひなの、椿原せいか、春木友里沙、中谷亜衣子、林田(浦富)愛莉、馬野瑞季、野舞翔、前田葵、佐野光里、高橋由芽、安芸(荻野)あゆ子、玉置莉菜、村上萌実、網干あすか、竹中朋宏、井口雅之、山田昌弘(大野晃弘)、法村主緒、今村泰典、奥田慎也、今井大輔、池田健人、大西慎哉(以上より31名、順不同・日程により調整)</p>		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	<p>出演者: 31 名</p> <p>スタッフ: 19 名</p> <p>合計: 50 名</p>	運搬	<p>積載量: 4 t</p> <p>車長: 8.85 m</p> <p>台数: 1 台</p>

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～10時(その後リハーサル)		13時45分～15時30分	15分	15時40分～17時15分	17時30分
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。						

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	6日	10日	0日	0日	0日	
	11月	12月	1月	計	51日	
	15日	10日	10日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	24名(マイム共演16名、小品共演8名予定)
		鑑賞人数目安	鑑賞者人数概ね400名以内、フロアに舞台を仮設するため客席面積(利用出来るフロア面積)が減るので、消防法に準じた客席スペースが確保される事が前提



搬入トラック (4 t ロング)



電源車、体育館に横付け駐車



搬入機材を整理してから仕込み



客席後方に設置する照明やくら



生徒参加作品の様子 (小学生)



生徒参加作品の様子 (中学生)

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)



客席の様子 (コロナ前) 基本的には、演技の足元が見やすくなるようにフロアに座って観賞して頂きます。より見やすくする工夫として後方に数列ほどを椅子にする場合もあります。



第二部の舞台装置 体育館の舞台は緞帳を閉めてその中はバックヤード(早替えのスペース)として使用します。演技舞台はフロア一面にバレエマットを敷きます。両サイドは体育館の幅まで袖パネルを立てます。(おおよそフロアの1/3ぐらいの利用になります/舞台サイズ:奥行き11m、幅17m以上(内間口12m))

※採択決定後、採択団体へ図面等詳細の提出をお願いします。

【公演団体名 法村友井バレエ団 】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	80名～100名
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>解説指導者1名と指導アシスタント5名の6名編成で、会場には、約10m×5mのスペースにバレエマットを敷き、レッスンの為のバーを設置します。ワークショップでの参加者は合計80名ぐらいまでとし(多すぎると集中力や指導管理がおろそかになります)です。その参加者の中から公演の時に参加(出演)して頂く人数は24名程(レッスン・マイム演技男女各8名、小品出演者男女各4名)を選んで頂く事を前提として実施します。</p> <p>ワークショップ会場としては体育館等のダンスが出来るスペースで、運動が出来る服装を着用下さい。公演への参加が前提で、集中力の問題から小学3年生以上を対象とします。</p> <p>前半の時間は、バレエ作品の鑑賞のポイントや、バレエの基本姿勢や基本的なマイムなどを体験しながら実施します。後半は、公演で参加していただく作品の練習です。(参加学年や技量により演目を調整いたします) グループに分かれてそれぞれに指導者が振付を指導していきます。最後に質問コーナーなどを設けて親睦をはかります。</p>		
ワークショップの ねらい	<p>バレエに興味を持ってもらい、日常の訓練(稽古)の大切さや、基本のポジションやマイム、バレエの表現を学んでもらいます。そして、公演の時に、団員と一緒に舞台上がって出演していただきます。マイムの表現、音楽性、アンサンブルの踊りの協調性や、本番で衣裳を着てメイクをほどこし人前で表現・演技することの意識を学んでいただきます。ワークショップで練習した成果を発揮・体験していただき、舞台芸術と表現のすばらしさに触れていただきます。</p>		
その他ワークショップに 関する特記事項等	<p>生徒の皆さんには、バレエのレッスンバーの代わりに背もたれのある椅子などを利用して、バーレッスンの体験や回転の技(ピルエット)の体験をしてもらいます。また、会場にバレエの衣裳やトウシューズ等を展示して興味を深めて頂きます。</p>		